

行政報告



遭難防止のため入山者へ呼びかけが行われました。



タウンミーティングでは活発な意見交換がされました。

令和2年北秋田市議会6月定例会は、6月11日に開会し、6月23日までの会期で開催。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、15日と16日には一般質問が行われました。17日からは、各常任委員会に付託された議案が審査され、6月23日の最終日には委員長からの報告、質疑討論、採決などが行われ結審しました。なお、行政報告の概要は次のとおりです。

総務部

総務課関係

令和2年度職員採用試験は、大学卒程度一般行政、建築士、土木技師について、5月31日を試験日とし、4月1日から受験申込みを開始していましたが、4月16日、新型インフルエンザ等対策特別措置法による「緊急事態措置対象区域」が、全国に拡大されたことを受け、試験の実施を延期しました。5月25日付けの政府による緊急事態宣言の解除を受け新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「北秋田市新型コロナウイルス感染症対策本部」を5月26日に廃止してまいりました。

止しております。ただし、警戒は継続する必要があります。今後は特別法に基づかない、任意設置の「令和2年度北秋田市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し対応してまいります。防災対策については、防災ラジオの不感地域解消対策として新たに鉄塔等を設置するため、実施設計業務委託を発注しています。

総合政策課関係

令和元年度2回目となる「市長と語るうータウンミーティング」を2月16日「若手起業家と語る北秋田市」をテーマに、交流センターにおいて開催しました。令和元年度にリニューアル作業を進めていた市のホームページは、ページデザインやサーバー環境を一新し、3月27日より運用を開始しました。

4月30日、地域おこし協力隊の米倉信人隊員が3年間の任期を満了し、北秋田市移住コーディネーターとしての活動を終えました。全国の地方空港を対象に、羽田空港において今年の冬ダイヤから増便となる5枠を募集していた「羽田発着枠政策コンテスト」に

おいて、5月14日、応募7空港の中から大館能代空港が4番目に高い評価をいただき増便が決定しました。

内陸線再生支援室関係

秋田内陸縦貫鉄道の令和元年度の乗車人数については、全体で平成21年度以来の増加となりました。収支についても経常損失2億円以内とする目標を5年連続で達成する見込みとなっております。

2月以降は、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、乗車人数が大きく落ち込んでおります。例年5月に開催している「秋田内陸線のりものまつり」のほか、沿線での観光イベント等も中止や延期を余儀なくされています。

財務部

財政課関係

令和2年2月1日から4月30日までの工事等発注状況（500万円以上）は42件で、契約額5億4925万8千円となっております。令和2年度の地籍調査事業については、大町および米代町を対象区域として実施します。

市民生活部

生活課関係

し尿処理施設については、4月から長期包括的運転管理業務委託により、順調に運転が行われております。また、北秋田市周辺衛生施設組合の解散に伴い、米代流域衛生センターの解体撤去に向け、汚泥減容化および実施設計に着手しました。

山岳遭難の発生防止のため、5月23日に森吉山ダム広報館前において、関係団体が参集し、入山者に対する遭難防止啓発活動を実施しました。

市民課関係

令和2年4月末現在の住民登録者数は3万1184人で、世帯数は1万4014世帯となっております。国民健康保険については、令和2年4月末現在の被保険者数は6764人、加入世帯数は4646世帯となっております。後期高齢者医療については、令和2年4月末現在の被保険者数は7804人となっております。

健康福祉部

福祉課関係

令和2年度の保育所入所は、4月1日現在、公立保育園116人、私立保育園606人の合計722人となっております。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する「子育て世帯への臨時特別給付金」については、6月5日に公務員を除く支給対象者へ支



第1子誕生ハッピーアニバーサリー事業として対象者に記念品が贈られました。

高齢福祉課関係

介護保険については、4月末現在の要支援・要介護認定者数が2776人で、そのうちサービス受給者は2415人、認定に対する受給率は87%となっております。「北秋田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定については、市民のニーズを的確に把握するため、「高齢者介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅

給しました。第1子が誕生する世帯に子育て応援記念品を支給する「第1子誕生ハッピーアニバーサリー事業」を今年度から実施しています。

介護実態調査」、市内の介護支援専門員を対象とした「意向調査」の実施に向け準備をしております。

医療健康課関係

4月1日より北秋田市保健センター内に、「子育て世代包括支援センター」を開設しました。保健師、助産師、栄養士等の専門の職員が、妊娠中から子育て期まで切れ目なく支援を行っています。保健事業全般の普及啓発としては、「健康ガイド」保存版を市広報4月号と共に全戸配布しています。

各地域巡回型の集団健診等については、新型コロナウイルス感染症防止のため、4月中旬より延期または中止としていましたが、国の緊急事態宣言の解除を受け、順次再開しています。

診療所関係

1月から4月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科は2516人で対前年同期比51人の減、外科は2783人で69人の減、歯科は1031人で75人の減となっております。合川診療所では、2240人で、対前年同期比229人の減となっ



4月1日から新診療所で診療業務が開始されました。